

(5 月 10 日) : ベトナム株は反発も、リスクは依然として残る

VN 指数は 5 月に入ってから初めての上昇、投資家は金融、石油セクターに関心を集めた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.58% 上昇し 952.55 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は先週合計で 2.22% 下落した。同指数は 4 月の最終営業日である 4 月 26 日以来 3.33% ほど下落していた。

ベトナム株は中国株の上昇を受け反発した。金曜日に中国国内のファンドが市場の下落を和らげるために同国株を買ったことを受けてのことだった。

同様のシナリオがベトナムでも起こった。投資家は金融、銀行セクターを物色した。5 月 2 日の休暇明け後に同セクターは最も下落していたセクターだった。

ベトストックのデータによると、証券会社、銀行のセクター指数は大きく上昇した。

それら 2 つのセクターは、1.5-0.8% ほど上昇した。

ベトキャピタル証券 (VCI)、アグリバンク証券 (AGR)、SSI 証券 (SSI) などが物色の対象になった。

それら証券会社の株価は 1.2-5% ほど上昇した。

VCI は 4 月 19 日以来で 17.5%、SSI は過去 4 営業日で 5% ほどと大きく値下がりをしていった。

TP バンク (TPB) は 4.7% ほど上昇した。ベトナム投資開発銀行 (BID) は 2.9%、HD バンク (HDB) は 1.7% ほど上昇した。

もう一つの市場を支えたセクターは石油関連セクターだった。米中貿易緊張の高まりにもかかわらず世界的な供給引き締めによって石油価格が上昇したからであった。

ペトロベトナムガス (GAS) は 1.2% ほど上昇し、ペトロベトナムドリリング (PVD) は 2.3% ほど上昇した。

Thanh Cong 証券 (TCSC) によると、金曜日の上昇は株価が下値を固め、調整が終わったことを示しているわけではないとのことであった。

低い流動性と外国人投資家の売り越しが市場の 2 つの懸念材料である。

出来高は 1 億 1460 万株ほどで、売買代金は 2.32 兆ドンほどであった。

これらの数字は 20 営業日の平均よりもかなり低い水準であった。

外国人投資家の売り越しはホーチミン取引所で 2194 億ドンほどであった。直近 4 営業日で合計 5560 億ドンほどの売り越しを記録した。

ベトドラゴン証券によると、“現時点で市場の回復について話すことは時期尚早だ”とのことである。“だましの可能性が大いにある”と同社は付け加えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.57%ほど上昇し 105.86 ポイントで取引を終えた。

木曜日の同指数は 0.61%ほど下落していた。

出来高は 3350 万株ほどで、売買代金は 4323 億ドンほどであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。